

1月行事予定						
にちようび 日曜日	げつようび 月曜日	かようび 火曜日	すいようび 水曜日	もくようび 木曜日	きんようび 金曜日	どようび 土曜日
				1 きゅうかんび 休館日	2 きゅうかんび 休館日	3 きゅうかんび 休館日
4 きゅうかんび 休館日	5 ちよきんたいそう 貯筋体操（ひまわり） 9：00～10：30 けんこうたいそう 健康体操（山根会） 13：30～15：00	6 スローエアロビック 19：00～21：00	7 ちよきんたいそう 貯筋体操 （スイートピー） 9：30～/10：30～	8	9 たつきゅう 卓球クラブ 9：30～11：30 ふれあい料理教室 10：00～	10 きゅうじつかいかんび 休日開館日 マインドフルネス瞑想会 10：30～11：30 たつきゅう 卓球クラブ 13：30～15：00
11	12 せいじんひ 成人の日	13 たいきよくけん 太極拳 9：30～10：30	14 ちよきんたいそう 貯筋体操 （スイートピー） 9：30～/10：30～	15 ふれあい喫茶 9：30～	16 たつきゅう 卓球クラブ 9：30～11：30	17
18	19 ちよきんたいそう 貯筋体操（ひまわり） 9：00～10：30 けんこうたいそう 健康体操（山根会） 13：30～15：00	20 たいきよくけん 太極拳 9：30～10：30 スローエアロビック 19：00～21：00	21 ちよきんたいそう 貯筋体操 （スイートピー） 9：30～/10：30～	22	23 たつきゅう 卓球クラブ 9：30～11：30	24 きゅうじつかいかんび 休日開館日 たつきゅう 卓球クラブ 13：30～15：00
25 きゅうじつかいかんび 休日開館日 せいめいそんちようどくしよかい 生命尊重読書会 10：00～12：00	26 ちよきんたいそう 貯筋体操（ひまわり） 9：00～10：30 けんこうたいそう 健康体操（山根会） 13：30～15：00	27 たいきよくけん 太極拳 9：30～10：30 マインドフルネス瞑想会 19：30～20：30	28 ちよきんたいそう 貯筋体操 （スイートピー） 9：30～/10：30～	29	30 たつきゅう 卓球クラブ 9：30～11：30	31
※予定は変更になる場合があります。						


【お知らせ】

○川之江ふれあい料理教室（第8回）1月9日（金）10時00分～


○ふれあい喫茶（第10回）1月15日（木）9時30分～

かわのえ隣保館だより

2026年（令和8年）1月発行号 電話/FAX 0896-28-6254



【館長ごあいさつ】



あけましておめでとうございます。皆様方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年は米の供給量の不足にはじまり、近年稀に見ないスピードで米の価格が高騰しました。また、他の食料品等においても、軒並み値上げ傾向にありました。一方、実質賃金マイナスの状況が続いており、我々の生活へ多大な影響が出ました。本年は皆様方にとって明るい希望の指す一年となりますようにと切に願います。

また、隣保館としましては、昨年同様に、地域社会全体の中で地域福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談業務や部落差別をはじめとするあらゆる人権問題の解決のための各種事業を行ってまいります。

今年も各種サークル活動や隣保館事業において、多くの方にご参加いただき、すべての垣根を超えた交流が図れるように、隣保館活動へのご指導、ご協力をいただけたらと思います。どうぞ今年も一年よろしく願いいたします。

館長 山下 宏二

悩んでいることはありませんか？

隣保館は、「職場でのハラスメント」「職場や学校に行けない」など人権に関わる悩みを相談できる窓口です。

その他生活相談、職業相談等困っていることは何でも相談してください。

～職員ごあいさつ～

あけましておめでとうございます。

昨年中も変わらず多くの人と隣保館での出会いによりつながることができて、たくさんの方の事を学ばせていただきました。この隣保館で過ごす一日一日が自分にとってかけがえのない経験となっております。本年も昨年と同様に、年齢・性別・国籍等を問わず多くの方の交流で、隣保館が活気あふれる皆様の憩いの場になるように精進してまいります。どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

主事 西川 直輝

あけましておめでとうございます。

今年も隣保館が皆様にとっての「ふれあい・つながる場所」となりますよう、雰囲気づくりに励みたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

主事補 加藤 真弓

「ふれあいのつどい」の開催について

《開催日程》

日時 令和8年2月22日（日）
13:00～16:00



内容 第一部（2階 大会議室）13:00～14:30



- お琴・尺八の演奏
- 『ワン＆オンリーいのちの会 四国中央』 活動報告
- お楽しみ抽選会（第一部参加者に景品が当たるかも）



第二部（2階 大会議室・1階 14:30～16:00）

- お琴・尺八 演奏体験会（2階大会議室）
- いのちの誕生迷路 体験（ワン＆オンリーいのちの会 四国中央）
- シトラスみんなの応援隊 ワークショップ
- 輪投げ
- お菓子つかみ取り
- おもちゃくじ
- ポップコーン、わたあめ

1階

すべて無料
参加チケットは
当日配布します



※内容は一部変更になる場合がありますので、ご了承ください。

差別はそっとしておいてもなくなならない

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題は、すべてにおいて理不尽で許されざるものであるということに変わりはありません。そっとしておいてもなくなる人権・同和問題はあります。解決に向けて努力する人がいるから、減っていったり、なくなるものだと思います。「そっとしておいて」ということは差別を受けている人に「黙っておいてくれ」と言っているようなもので、その立場の人からすると「自分たちの苦しんでいる差別の現実を明かさなideくれ」と言われているように感じる人も少なくないように思います。今現在、差別は見にくくなっているだけで、そっとしておいても問題の本質を理解できません。さらに、インターネットなどに溢れる差別的な表現を正しいことのように認識してしまい、インターネットなどで起こる差別事象に加担してしまう可能性もあります。加えて、自分自身が正しく学んでいないと、子や孫などが学校で学ぶ正しい人権・同和教育に対して疑問すら持つのではないのでしょうか。きっとそういう人は「知らなくてもいいことを教えるから差別は広がるのだ。」というのでしょうか。これこそが「寝た子は起こすな」という誤った考え方につながります。

よく、自分には直接は関係ない問題だと、あくまでも自分は傍観者であるという人がいますが、差別には傍観者はいません。誰もが当事者であり、「差別を残す側」か、「差別をなくす側」どちらかになります。つまり、傍観者だと思っている人は差別を残す側になります。あなたはどちらに属したいですか？正しく学んで、差別をなくす側として、間違ったことを正していく方がいいと思いませんか？

例えば自分の子や孫がいじめられて、人知れず苦しい思いをして悩んで相談してきた子どもや孫に、「そっとしておけばそのうちいじめはなくなるよ。」と言えますか？きっと勇気をふり絞って家族に伝えたのに、その言葉によって、その子の心がへし折られてしまうかもしれません。それは他人事でもなく、いつその状況が自分自身に降りかかってくるかもしれません。また、最初から「私は差別しません。」などと言えるのでしょうか。すべての問題はつながっています。解決できない問題もそれぞれの横の連携によって、人が様々な視点から見ることで解決へつながることもあります。

正しく学び、正しく伝えていかないと、自分や周りの家族などがネットなどでの安易な発言により、誹謗中傷や差別を助長したりもしかねません。そのことを常に念頭に置いて、すべての問題も自分事として捉えて、一緒に差別をなくす側としてつながっていきましょう。

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題は自分事として捉えてはじめて、なくす側としてつながる一歩になります。自分や自分の家族あるいは周りの親しい人が差別をしない、受けないためにも、すべての問題を自分に置き換えて、自分だったらどうするか、どうすればなくせるかを考えること、学び続けることで、自分がいかに行動すべきか見えてくるのではないのでしょうか。そのためにも、学ぶ機会は待つのではなく自ら探し、自分から動いていきましょう。